

HYPER JAPAN Festival 2022



会 期：2022年7月22日（金）～24日（日）

会 場：Evolution London

主 催：Cross Media

後 援：在英国日本国大使館／(独)日本貿易振興機構 (JETRO)／(独)国際観光振興機構 (JNTO)／(独)国際交流基金／
 (一財)自治体国際化協 (CLAIR)／(一財)日本音楽産業・文化振興財団 (JMCE)／NPO 法人映像産業振興機構 (VIPO)／
 (一社)日本動画協会 (AJA)／(一財)デジタルコンテンツ協会 (DCAJ)

対 象：主にイギリス在住の日本文化ファン

公式サイト URL：https://hyperjapan.co.uk/festival/

総来場者数（参加数）：20,000人

内 訳：（国内入場者数（参加数）：0人 海外入場者数（参加数）：20,000人（うちイギリス在住者は17,200人）

出展社数：241社

内 訳：（国内出展社数：10社（日本企業） 海外出展社数：231社）

出展参加国と地域数：4の国と地域（イギリス、フランス、米国、日本）

プレス社数：96社

内 訳（国内プレス社数：2社（日本メディア） 海外プレス社数：94社）

■開催内容

3年ぶりのリアル開催となった本年は、開催を待ち望んでいたファン約2万人が3日間を通して日本文化をロンドン中心地で楽しんだ。土日のチケットは完売するほどの人気があり、飲食コーナー等は列が絶えず出来ており、お好み焼きや日本酒の飲み比べ等で舌鼓を打った。おりがみ、茶道、書道など伝統的な文化を体験できるワークショップエリアは開催前にチケットが完売するほどの大評判で老若男女問わず日本文化に触れ楽しんでた。日本から出展したNAKEDや国立公園のVRコンテンツもブースに並び列ができるほどで、新しい体験や情報を求める来場者の心をつかんだ。また金曜日と土曜日の夜は「HYPER LIVE」と銘打ち、日本からのアーティストのライブを観に、別売りのチケットを購入した熱狂的なファンたちが集い、会場を更に盛り上げた。毎度人気のマーケット・フリッジエリアには、出展者がイベントに向けて丹精込めて作成した日本文化に影響を受けた作品が並び、来場者は200以上のテーブルを回り買い物にいそしんだ。来場者の多くはこのように自分の好きな物や滅多に手に入れることのできない日本製品を求めてもおり、個人の平均消費金額は約95ポンド（当時の為替で約15,500円）と比較的高額であった。

■2022年度の新規取り組みとその成果・特色など

- ・日本からの渡航が難しい時期に営業をせざるを得ない中、ブース出展の運営スタッフを現地で集い遠隔で出展できるように工夫をした
- ・オンライン上での広告宣伝活動もできるように、ウェブサイト上に広告枠を設けた

■他イベントや非コンテンツ企業との連携事例などの実施事例、件数・成果

- ・BFI（英国映画協会）とクロスプロモーションを実施し、日本関連のイベント時にチケットの宣伝を実施した

